

大館市病院事業経営強化プラン（案）の概要

1. 経営強化プラン策定の目的

大館市病院事業ではこれまで、市立病院に求められる役割・機能を果たすことや他医療機関との連携による効率的な病院運営を目的としながら、経営の効率化に取り組んできました。総務省は令和4年3月、少子高齢化の進行に伴う医師・看護師等の不足や医師の時間外労働規制への対応、感染症拡大時に公立病院が果たすべき役割の重要性が再認識されたことから、「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を公表しました。

このガイドラインに基づき、大館市病院事業では地域特性を踏まえた持続可能な医療提供体制の確保に向けて、「大館市病院事業経営強化プラン」(以下、「経営強化プラン」)を策定します。

2. 経営強化プランの対象期間

令和6年度から令和9年度までの4年間

3. 経営強化プランの内容

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

ガイドラインが示す項目	経営強化プランでの大館市病院事業の考え方、取り組み
①地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能	【総合病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・三次救急対応施設である地域救命救急センターの整備 ・公立病院として、小児、周産期医療の提供 【扇田病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・入院の回復期、慢性期医療の継続と在宅医療の継続
②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能	【総合病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションを設置し在宅医療の拡充を図ります。 ・地域の特性に合わせて一部かかりつけ医療機能を担い、地域の医療機関との連携を図ります。 【扇田病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養支援病院として訪問診療・訪問看護、退院相談体制の充実を図ります。
③機能分化・連携強化	【総合病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・県北医療圏にない緩和ケア病棟の整備に取り組めます。 ・心臓リハビリテーション実施医療機関として、急性期治療後のリハビリテーションの提供を目指します 【扇田病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・病床削減を図りつつ、回復期・慢性期医療を継続し、訪問診療・訪問看護等の在宅医療を継続します。
④医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	経営強化プランの対象期間に、医療機能を十分に発揮しているかを検証する観点で数値目標を設定しています。 【総合病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・救急患者数 ・PCI(心臓カテーテル治療)実施件数 など 【扇田病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・回復期病床の在宅復帰率 ・在宅医療の件数 ・健診事業の件数 など
⑤一般会計負担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・公益的な観点から地域住民へ提供すべき医療である救急・周産期・小児医療等については、総務省の定める繰出基準に基づき、設置主体である市と十分協議をし、予算計上していきます。 ・経営強化に努め、適正かつ必要最小限の繰入額となるよう努めます。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

ガイドラインが示す項目	経営強化プランでの大館市病院事業の考え方、取り組み
①医師・看護師等の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・関連大学、県等への協力依頼と連携により医師確保に努めます。 ・基幹型臨床研修病院として、研修プログラムの充実を図り、若手医師の確保に注力していきます。 ・地域の大学等からの実習生受入れや奨学金制度の活用により、看護師確保を図ります。
②医師の働き方改革への対応	【総合病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の適正な把握、他職種とのタスクシフト/シェアの推進などにより、病院全体の業務改善に努めます。

(3) 経営形態の見直し

現在の経営形態である「地方公営企業法(全部適用)」を維持しつつ、経営強化プランの取組みを実行することで経営の強化に努めていきます。

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組み

地域における役割分担を踏まえた感染症医療及び通常医療の提供体制を確保していきます。

総合病院は、医療圏における感染制御に関する基幹病院として、新興感染症を想定した訓練やカンファレンスを行うなど指導的役割を担っており、感染拡大時においても医療機能・役割を果たすことができるよう、専門人材の育成と院内感染対策の徹底、感染防護具等の備蓄に取り組めます。

(5) 施設・設備の最適化

ガイドラインが示す項目	経営強化プランでの大館市病院事業の考え方、取り組み
①施設・設備の適正管理と整備費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・市立病院が医療圏における役割・機能を果たしていくうえで、各事業年度で想定される投資額を考慮しながら施設・設備を適切に管理していきます。 【総合病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア病棟の整備を予定しており、整備費の抑制と維持管理費の適正化を図ります。 ・高額医療機器の更新及び導入は、使用状況、必要性を検証し整備していきます。 【扇田病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・診療体制や経営状況を考慮しながら、老朽化の著しい空調・給排水設備については、緊急度の高い箇所から順次修繕を実施していきます。
②デジタル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・総合病院では、電子処方箋の導入及び訪問看護の開始と合わせて一部診療科からオンライン診療の開始を検討します。 ・厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等の指針に準拠し、セキュリティ対策を講じていきます。

(6) 経営の効率化等

ガイドラインが示す項目	経営強化プランでの大館市病院事業の考え方、取り組み
①経営指標に係る数値目標	経常収支比率及び修正医業収支比率を数値目標とし、高齢者を含めた人口減少や周辺診療所の減少など、大館市の地域特性を踏まえて設定しています。
②目標達成に向けた具体的な取組み	【総合病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・HCU(準集中治療室)等の救急医療体制の整備、緩和ケア病棟への一部転換、外来業務の負担軽減等の施策に早急に取り組めます。 【扇田病院】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度から1病棟減とし、病院運営への影響が少ない病床構成を目指します。(現在 2病棟 104床→令和7年度 1病棟 40床)
③経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等	期間中の収支計画は、診療報酬改定などの経営環境の変化による影響を受けるため、必要に応じて見直しを行います。

4. 経営強化プランの策定・点検・評価・公表

経営強化プランの実施状況については、毎年点検・評価を行い、その結果を公表します。また、経営強化プラン策定後においても、状況変化を踏まえ必要に応じて計画の見直しを行っていきます。